

図書館30年の歴史



新図書館車「せっしゅう文庫」【写真6】



そうじゃ言葉の力大会【写真5】



ブックスタート事業【写真4】



えほんのもり【写真3】



電算システムの稼働【写真2】



町村訪問パレード【写真1】

24年 4月	23年 9月	22年 3月	21年 5月	20年 4月	19年 3月	18年 10月	17年 3月	15年 4月	14年 3月	13年 12月	12年 7月	11年 4月
市図書館が文部科学大臣表彰を受賞	新図書館車「せっしゅう文庫」の購入【写真6】	市図書館と山手公民館図書室の一体運用開始	清音公民館図書室のオープン	図書館システムの更新	郷土史講座が再開							

昭和 57年 5月	昭和 58年 10月	昭和 59年 1月	昭和 60年 8月	昭和 61年 4月	昭和 62年 8月	昭和 63年 5月	平成 元年 4月	平成 2年 11月	平成 3年 5月	平成 4年 9月	平成 6年 7月	平成 7年 2月	平成 8年 10月	
市図書館が開館	図書館車による巡回が始まる	朗読技術講座が開講	郷土史講座が開講	古文書講座が開講	児童奉仕活動として「クリスマス会」が開催される	「おとぎのへや」(絵本の読み聞かせ)が開催される	「世界の絵本展」が開催される	図書館車による町村訪問パレードが行われる【写真1】	おはなしを語る会ボランティア養成講座が開講	子ども読書週間行事として「としょかんまつり」が開催される	「おはなしのへや」(絵本の読み聞かせ)が始まる	西公民館に配本所が開設される	電算システム稼働記念式・コンピュータが稼働【写真2】	平和図書コーナー設置



図書館スタッフ一同

図書館開館30周年記念事業の一つとして、11月25日(日)午前10時から「一日子ども図書館フェスティバル」を市図書館と総合福祉センターで開催します。みなさん読書の秋を楽しむイベントにご参加ください

これからの図書館
 読書は想像力を豊かにし、言語を学び、感性を磨くために欠くことができないものです。そのため、本の楽しみに出会う機会を提供し、読書の大切さを認識してもらう場として、図書館の存在は大変重要です。これからの、図書資料の充実、電算システムを活用したサービスの向上、自動車文庫による地域の読書活動の推進などを進め、市民のニーズにこたえ、市民に親しまれる図書館を目指します。



おはなしを語る会代表 大森 文子さん (写真左) と
 ドリームブックネット総社代表 川上 重子さん (写真右)
 「図書館の人たちはいい人ばかり。子どもたちがたくさん図書館に来てくれるとうれしいです」と、はつらつと話す大森さん。「読書はとても楽しいですよ。家庭でも親子でしっかり本を読みましょ」と、呼び掛ける川上さん

子どもの読書活動の推進
 市は、子どもの読書離れが進んでいるなか、読書習慣の形成、読書環境の整備などを目標に、読書活動を推進しています。そして、図書館、学校・園、ボランティア団体間が連携を図り、相互協力して活動を進めるため、「読書活動を推進する会」を設立しました。
 活動を支えているのは、地域の読み聞かせボランティア団体。その団体のひとつ「おはなしを語る会」は平成元年から活動を始め、平成20年に文部科学大臣表彰を受賞しました。また、平成18年には、こういったボランティア団体のネットワーク「ドリームブックネット総社」が発足し、計画的で効率的な活動を行っています。